

『笑む笑む会ホームヘルプサービス』です。

訪問介護事業所「笑む笑む会ホームヘルプサービス」は、平成2年に事業を開始し、今年で30年目を迎えました。

現在、20名のヘルパーが在籍しています。その大半が平成元年度から運用が開始された、住民参加型の助け合い事業「笑む笑むサービス」の協力会員としての活動を通して、介護の経験と知識を積み資格を取得し、介護事業所のヘルパーとして活動しています。

ヘルパーは、入浴や排せつ介助、ともに行う調理などの身体介護と買い物や洗濯といった生活援助など、利用される方一人ひとりの心身状況に応じた支援を行っています。特に、複数のヘルパーで交互に担当させていただくことで、それぞれのヘルパーの視点からの気づきがあり、支援の改善にも繋がっていると感じています。

「ヘルパーさんの来ない日は、誰とも話すことがない。訪問の日は一緒に調理をしたりやる気が出るよ。」などのお声をいただくときは、やりがいを感じ本当に嬉しいひと時です。

介護保険制度のもと、決められた時間の中での支援となるため、利用される方とゆっくり話ができないなど心苦しいところもありますが、常に「自立支援」を担っていることを念頭に置いています。

そのため、定期的に研修会や勉強会を行い、スキルアップにも力を入れています。5月の研修会は、薬剤師を講師にお招きし「薬の知識」を学びました。併せて、企画からすべてヘルパーが行う「笑くぼ会」は、先輩ヘルパーから直接、介護技術を学んだりすることで、チームワークや絆が深まる機会となっており、より良いサービスの提供に繋がっています。

また、当協会では今年度から、キャリアパス制度を導入しています。これにより、頑張った分しっかりと評価されるやりがいのある職場づくりやスキルの向上を目指します。

今後、利用される方それぞれの思いを大切にしながら、住み慣れたご自宅で、可能な限り自立した生活を送っていただけるよう、より質の高いサービスの提供を目指し頑張っております。



～ 研修会の様子から ～



♪ 北老人福祉センター ♪ 趣味の会 民謡「日謡会」のご紹介です



練習中の雰囲気です♪

民謡 日謡会 (第1・2・4 日曜日 10時～12時)

私が当センターを利用させていただいて、早や20数年になります。

特に一人暮らしの方は、人の集まる場所で唄を歌ったり世間話等をすれば、心身共に良いのではないかと「健康とふれあい」が目的で始めました。また、妻が三味線を弾き私も尺八を練習していましたので、伴奏を聞きながら歌って貰えればというきっかけもあります。



練習は、午前10時から始まります。まず、数十曲の民謡の中から宮崎県民謡を4曲、次に、民謡曲を5曲ぐらい歌います。大きく口を開き、お腹から声を出すのは、とても気持ちの良い時間です。

尺八・太鼓・三味線の伴奏がとても風流です♪

皆さんが程よく疲れた頃、11時よりお茶の時間になり世間話で賑わいます。広い部屋には、民謡を歌う時の声に負けない位のたくさんの笑い声で溢れます。これもまた、とても楽しみな時間でもあります。

最後に、11時30分からは、希望者に好きな曲を歌ってもらいます。ここでの人前で歌う経験が、他の舞台でも堂々と発声する事ができる「度胸づけ」の機会にもなります。そして、12時に終了です。

終了後、皆さんの満足そうな顔を見るのがとても楽しみです。70代から90代までの方々と元気に歌っています。最高齢は96歳です。冷暖房のある部屋で快適に、そして楽しく2時間を過ごさせてもらって感謝しております。

入会、大歓迎です。

私達と一緒に楽しい時間を過ごしませんか？

＜ 投稿者 大賀次男 様 ＞



ある若き日の思い出

評議員 荒木 林



少し遅めの食事を摂りながら、今日は二人とも用事が無いので延岡植物園に行ってみようかと話がまとまり、出かける事にした。朝の交通立ち番を務め終えて、簡単な準備をして出発。15分位で到着し、早速園内を廻る事にした。早朝から職員の方々が花々の手入れや除草作業をされており、挨拶を交わしながら綺麗に咲いた花々を愛でながら足を進め、おおよそ中央付近でひと休みをする事にした。ひと息つき四方下方眺めていると、数十年前の或る事が頭に浮かんで懐かしい気分になった。あの頃を振り返ると、印象深い出来事が次々と思い出される。

私の母校は南方中学校である。今では、校舎など残っていないが面影だけは頭の中に鮮明に残っている。諸先生方のお顔を忘れる事はないが、特に忘れがたい甲斐鉄男先生の姿が一番強く心に残っている。少し述べてみたい。

当時、学校では校舎裏側に学校の茶畑があり、私が今立っている一帯が広い畑であった。学校では農作業授業が取り入れられ、生徒は草取り班と肥料班に分かれての作業があった。運悪く肥料班になると皆嫌がるのだ。なぜなら、肥料班は、学校内の便所から糞尿を汲み取り肥桶に入れて、2人1組で天秤棒を担いで斜面を登り茶畑へ運ぶ作業があるからだ。

当日は私達のクラスがその作業を行った。作業もひと段落し、全員が集められた。先生が話を始めるといきなり大きな声を出し、横に置かれた肥桶を右手で持ち上げ逆さにした。すると、残っていた汚物が白いシャツにまで流れ落ちた。そして、そのままの状態の後始末が悪い事を注意されたのだ。

その時の先生の顔を今でも忘れられない。今はこの様な事はあり得ないが、当時は当たり前前の授業であった事を述べてみた。尚、当日の花見については勿論大満足で帰途する事ができた。

「介護教室」の受講者を募集します！！

延岡市の委託を受け、9～11月にかけて合計6回の「介護教室」を開催します。座学や調理実習などを通して、適切な介護知識や技術を学ぶことのできる大変役立つ内容となっています。

受講料は無料です。どなたでも受講できますので、お気軽にご参加ください！

【第1回】開講式

▽日程：9月12日（木）13時30分～15時30分

▽内容：「よくわかる介護保険」

▽会場：社会教育センター 研修室6
（介護保険制度のしくみやサービス内容・サービスを受ける為の手続き等）

【第2回】

▽日程：9月26日（木）13時30分～16時

▽内容：「身体と心の健康づくり」・「リフレッシュ」傾聴のやり方

▽会場：社会教育センター 研修室6

【第3回】

▽日程：10月10日（木）13時30分～15時30分

▽内容：「移乗やポジションニングを学ぼう」

▽会場：社会教育センター 研修室6

【第4回】

▽日程：10月17日（木）13時30分～16時

▽内容：「家庭でできるマッサージ法」（簡単な手技治療など）

▽会場：社会教育センター 研修室6

【第5回】

▽日程：11月14日（木）13時30分～15時30分

▽内容：「健康的な食生活のための調理教室」

▽会場：社会教育センター 調理室

【第6回】閉講式

▽日程：11月21日（木）13時30分～16時

▽内容：「住宅改修『介護リフォーム』について」

▽会場：社会教育センター 研修室5

▽会場：社会教育センター 研修室5

◎**申込締切は、8月30日（金）です。（各教室の定員35名）**

〈申込み・問い合わせ先〉

延岡市高齢者福祉協会 ☎21-6675

「笑む笑むサービス事業」とは、

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるようみんなで支え合う『助け合い事業』です。この事業の趣旨に賛同し資金面で支援をいただく賛助会員を募集中です。

皆様のあたたかいご支援をお願い致します。

- 個人賛助会員：1口 1,000 円
- 法人賛助会員：1口 10,000 円

北老人福祉センターを利用されている趣味の会「民謡」の大賀次男様をはじめ、吉田英子様（銭太鼓）、菊池キミ工様（太極拳）、当協会役員の方々など、現在10数名の個人賛助会員の方からご支援をいただいております。ありがとうございます。

【申込み・問い合わせ先】

☎21-8510（笑む笑むサービス）



編集後記

本格的な梅雨の季節が到来しました。各地では、大雨などによる自然災害が発生しており、その被害が心配されることとなっています。

北老人福祉センターでは、梅雨空にもかわららず、趣味の会での活動や遊びに来館される利用者さんの元気な笑い声に溢れています。日課のように利用して下さる皆様、本当にありがとうございます。

当センターが、地域の「スマイル」になれようと思っております。

この季節のいじめられた暑さを乗り越えようと思っております。皆様のご支援を待っています。

【寄付金】

津田 勇 様
門脇 二郎 様

【物品寄付】

田上 瑤子 様
高瀬 絹代 様
金岡 玲子 様

ご協力
ありがとうございました

